やさいレポート（令和８年 11 月号）

にんじん

発行日：令和８年 11 月 10 日

１．卸売価格の動向

○140 円/kg（11 月 7 日）

- 平年比：103%

○11 月の価格見通し

前半は平年並み、後半は平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

２．小売価格の動向

○388 円/kg

（10 月 9 日全国平均）

- 前月比：100%、平年比：94%
- 東京：210 円（3 本）
- 大阪：182 円（3 本）

○特売店舗数／調査店舗数

- 東京：6/20（前月 5/20）
- 大阪：2/10（前月 4/10）

（機構調べ）

３．家計消費動向

○222g/人（9 月全国平均）

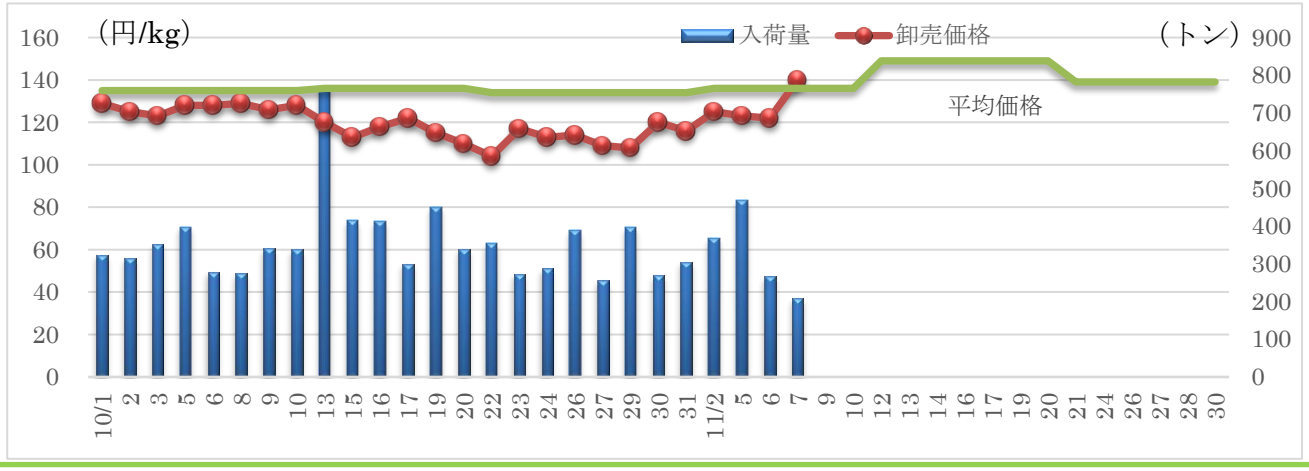
- 前月比：112%
- 前年同月比：112%

○2,497g/人（2025 年年間）

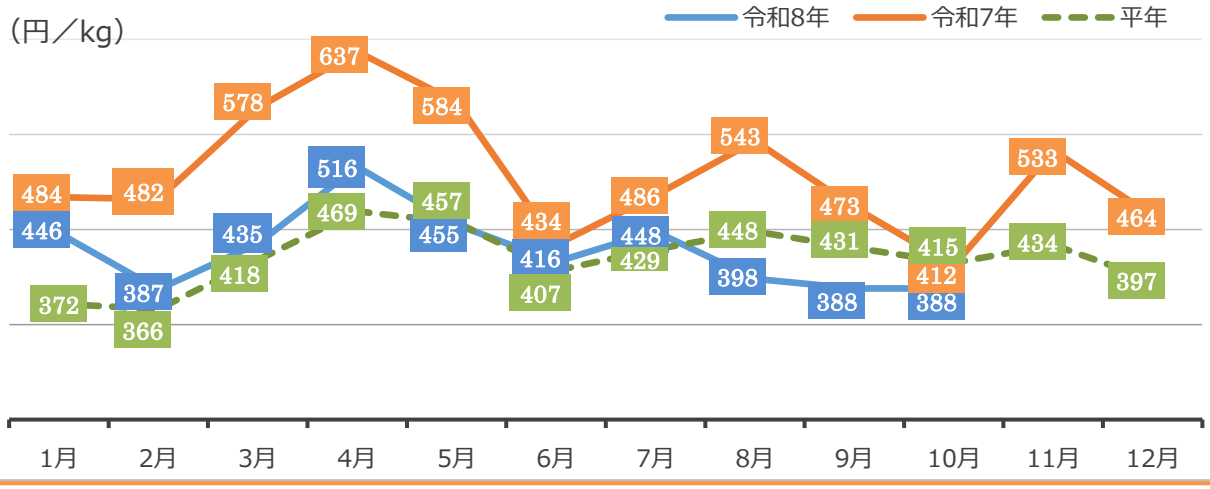
- 前年比：98%

（総務省統計局家計調査）

４．にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



５．にんじんの小売価格の推移



6．主産地の生育･出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野（9/9）	増加	豊作～やや良	早い	平年並み
青森県三沢（7/16）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
茨城県鹿島（10/16）	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南市（9/28）	前年並み	やや不良	遅い	－
徳島県吉野川流域（4/21）	前年並み	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。（ ）内は調査日。　（機構調べ）



茨城鹿島：圃場の様子

7．向こう１ヶ月の気象情報（11/7～12/4）

	週別の天候
11/7～11/13	北日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
11/14～11/20	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
11/21～12/4	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

		平均気温（１か月）	降水量（１か月）	日照時間（１か月）
北日本	日本海側	低30 並50 高20% **平年並**の見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並40 多30% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% **高い**見込み	少30 並30 多40% **ほぼ平年並の**見込み	少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み
	太平洋側		少20 並40 多40% **平年並か多い**見込み	少40 並40 多20% **平年並か少ない**見込み

（気象庁１カ月予報）

8．輸入動向（生鮮にんじん）

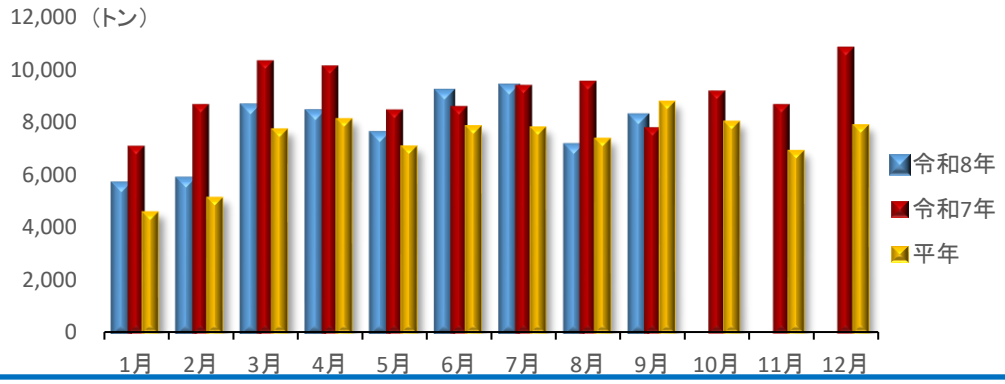
○8,167トン（9月輸入量）

- 前年同月比：105%

○輸入先国ベスト3

1位	中国	7,940トン
2位	豪州	223トン
3位	オランダ	3トン

（財務省貿易統計）



9．一口メモ

10 月は、北海道産中心の入荷となった。北海道産は天候に恵まれ生育順調であったことから、月を通して入荷量は平年を上回り、価格は平年を下回った。中旬以降、平年の約８割の価格となった。

11 月は、北海道産中心の出荷から千葉県産中心の出荷へと切り替わる。北海道･青森県産は中旬に出荷が終了する見込み。千葉県産は８月の豪雨や９月の台風による再播種、また９月の長雨や日照不足により生育遅延や肥大の鈍化が見られている。前半の出荷数量･価格とも平年並み、後半の出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。
ベジ探：https://vegetan.alic.go.jp/

農畜産業振興機構
野菜業務部　管理業務課